

テーマ研究・調査活動成果報告書

提出日: 2015年 3月 31日

<p>テーマ名</p>	<p>新規創業企業・小規模企業で使えるフリー・低価格ソリューションの活用研究(4)</p>	
<p>届出組織等名称</p>	<p>ITC千葉ネットワーク</p>	
<p>成果物公開URL</p>	<p><a href="http://www.itc-chiba.net/">http://www.itc-chiba.net/</a></p>	
<p>当活動代表者 及び担当者連絡先</p>	<p>(代表者氏名)三浦英晶 電話番号:08048091110 e-mail: miurahideaki@gmail.com</p>	<p>(担当者氏名)三浦英晶 電話番号:08048091110 e-mail: miurahideaki@gmail.com</p>
<p>研究・調査 成果概要</p>	<p>本年度の研究においては、「これまで進めてきた研究の成果をとりまとめ、書籍としてかたちに残してはどうか」という意見が挙げられた。そこで本年度は、書籍の執筆の下準備としての研究を行うこととなった。 まず、書籍のコンセプトを議論し、以下のように決定した。</p> <p>■ターゲット ・これから創業する人に限定</p> <p>■目的 ・セミナーのテキストとして使用する(創業スクール等) ・コンサルタントとしての創業支援の営業ツールとする ・各種勉強会のネタとする</p> <p>■方向性 ・ノウハウ本にないリアルな情報を盛り込む ・実際に何をすればよいか分かるよう、実務的な内容とする ・どんなシーンで使うのか、イメージができるようなリアルなケースを盛り込む</p> <p>このように、コンサルタントとして実際の創業支援の場で活用できる内容を目指すこととなった。</p> <p>研究は、以下の手順で進めた。 1-4-1. 創業パターンの検討 1-4-2. 創業時に使えるソフトウェア・サービスのリサーチ</p> <p>本研究でリサーチした結果を見ると、有効なソリューションとしてチョイスしたものは、ほぼクラウドサービスとなった。本研究会をスタートさせた4年前と比較すると、かなり速いスピードで様々なソフトウェアがクラウド化され、更にかゆいところに手が届く付加的なサービスが連動されている。これらのサービスを活用した企業と、活用しなかった企業では、様々な局面でかなりの差がついてしまうのではないかと感じた。 我々ITコーディネータは、創業企業に対し、これらのソフトウェア・サービスをその企業の状況に応じて適切に導入し、それを有効的に活用することができるよう支援していく必要がある、と、使命を再認識した。</p>	
<p>成果物</p>	<p>テーマ研究・調査活動報告書 「新規創業企業・小規模企業が使えるオープンソース・フリーソフトの活用研究」(4) (2015年3月31日)</p> <p>ITコーディネータ千葉ネットワーク・テーマ研究会・第1チーム 研究メンバー:小早川渡、齋藤謙一郎、白井貴子、三浦英晶</p>	

<p>事務局受付日</p>	<p>2015/4/12</p>
<p>案件番号</p>	<p>S14002</p>